

## 航空分科会基本政策部会の開催について

令和3年4月  
国土交通省航空局

### 1. 趣旨

- 基本政策部会は、平成26年に、「新時代の航空システムのあり方～世界のダイナミズムへの扉を開き、日本の明日を育む航空システム～」をとりまとめた。このとりまとめに盛り込まれた様々な政策は、羽田新ルートの実現をはじめとし、一定程度の進捗をみている状況にある。
- 一方、新型コロナウイルス感染症の流行による社会経済情勢の激変、カーボンニュートラルへの意識の高まり、ドローンや空飛ぶクルマといった新モビリティの登場など、平成26年のとりまとめ当時には想定していなかった課題も生じている。
- そこで、こうした新たに生じた現象・課題を踏まえながら今後の航空政策のあり方を検討していくこととし、まずは国土交通省の環境行動計画などを見据えつつ、航空分野におけるカーボンニュートラルの実現に向けた議論を行う場として基本政策部会を開催することとする。

### 2. 今後の流れ

4月26日 部会（第16回）開催

- ・ 航空を巡る最近の状況
- ・ 航空分野におけるCO<sub>2</sub>削減の取組状況

6月頃 部会（第17回）開催

- ・ 航空分野におけるCO<sub>2</sub>削減の取組 など

※ 以降、2～3か月に1回程度の開催を想定し、新型コロナウイルス感染症の収束状況なども踏まえながらテーマを設定予定。

※ 方向性のとりまとめを目指すというよりは、毎回設定したテーマについて委員の皆様から頂いたご意見を航空政策に反映していくことを主眼として開催する。